

一般貨物自動車運送業における作業床、歩み板を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	20～ 21	荷物を積み、給油後にトラック洗車をしているとき、トラック後方の汚れを確認しようとして歩いていたところ、地面が凍結しているのに気付かず、足を滑らし転倒し、右足を骨折した。	51	10 ～ 29
1	4～5	工場で荷物（ウレタンロール）をトラックに積み込み作業をしているとき、積み込み場所の足場ですべって転倒し、右足首を捻挫した。	45	30 ～ 49
1	16～ 17	倉庫内に計算用電卓を取りに行き事務所に戻る際、倉庫入り口のスロープ左側を歩行中、左側端に寄りすぎた為、スロープを踏み外して転倒した。	56	10 ～ 29
1	7～8	積み込みが終わり、工場のバースからトラックに戻る際、バース荷物搬入口の足元の鉄板に乗ったところ、鉄板と鉄製の足が接合されている部分が外れたため鉄板が崩れ、搬入口（高さ約1m）から落下し、左手首を負傷した。	35	100 ～ 299
1	13～ 14	荷おろしの際に転倒し、左肩を強打し怪我をした。	47	—
1	12～ 13	構内小物室前にて荷物を仕分けし移動しようとした時、足がボックスのダンパーに引っかかりバランスを崩して倒れ、腰を打った。	51	500 ～ 999
1	18～ 19	第4荷捌場において、車両運搬用のトラーラに商品自動車の積込作業中、積込用の荷台は上段と下段の2層構生になっているのだが、上段での作業中、引出式の可動床が正しく作動しないため力を入れて引っ張ったところ、不安定な姿勢になり、可	56	10 ～ 29

		動床の空洞部分より下段の床に落下し、背中を強打した。		
1	15～ 16	配送作業終了後に車庫へ向かう途中で立ち寄ったコンビニエンスストア駐車場に車両を停車し、買い物を済ませ車両に向かう最中に、駐車場にある輪止め縁石に右足で乗った際に踏み外し、足をひねり右足小指を骨折した。	37	10 ～ 29
1	14～ 15	本社にて、自動車をトラックに載せる準備のため、道板を出した際に足を引っかけて転倒してしまい、脇腹をユニクソートで殴打してしまった。	61	1～ 9
1	15～ 16	個人宅への商品搬入を終えトラックへ戻る際、庭先の窪みに右足をとられて捻り負傷する。	43	50 ～ 99
1	8～9	構内駐車場にて、業務終了後に、自身の車のフロントガラスの氷を溶かそうとしてフロントガラスにホースで水をかけていた。その後、車に乗り込もうとした際に路面の水が凍っていることに気付かず足を滑らせた。その際に右手の手のひらをつくような体勢で転倒し、肘の関節から手のひらまでの筋肉と筋を痛める形になった。	62	50 ～ 99
1	23～ 24	荷卸し中に滑ってしまい、トラックのゲートのところで左足の踵をぶつけて怪我をした。	38	30 ～ 49
1	14～ 15	納品先で商品を両手で持ち、階段を上り、踊り場に置かれていたダンボールに右足で踏みつけた瞬間、足を滑らせ骨折した。	44	100 ～ 299
2	9～10	建設現場にて荷卸し作業完了後、車輛右方から運転席に戻ろうとする歩行中に右足首を捻り捻挫してしまった。（地面は平坦で乾いた状態であった。）	31	30 ～ 49
2	15～16	何も持っていない状態で荷物をトラックに取りに行く際に、平地で足を捻る。	21	—
2	14～15	Eヤードにおいて、陸送車よりNo.3番の商品車を下ろす作業中、一旦下に降りようとした際、陸送車の足置場から足を滑らし、不安定な姿勢で地面に着地した時、右足アキレス腱を断裂負傷したものである。	31	10 ～ 29

2	9~10	積込先にて、商品にラップを巻く為、トラックからラップを取り、作業場所まで徒歩にて移動中、段差（2~3cm）に左足が躓き転倒し、右膝を地面で打撲した。	62	1~9
2	6~7	ホーム上で、積み込み時に、商品を持ち上げ、移動しようとした時、誤って、足を踏み外し、ホームから落下し、肘を、地面に強打した。	46	50~99
2	17~18	トラックを会社駐車場に停め、運転席から降りる時、薄暗かった為、足元が良く見えず、躓き左足を捻ってしまった。	54	10~29
2	17~18	客先工場にて、サッシの積み込み作業を行うため、簡易プラットホーム（6m×3m×高さ1m）を移動していたところ、誤ってプラットホームから足を踏み外し、背面転落し、負傷した。負傷時サッシ等の運搬物はなし。	20	100~299
2	6~7	車輻からパンを乗せ替え終わり、引っ張り棒を他の車輻へ借りに入った際に、周囲が暗かった事もあり、枕木に気付かず足を引っ掛けて転倒した。その際、枕木の前に設置していた鉄製の台に両膝と胸を強打して被災した。	47	30~49
3	15~16	荷物の配達先の構内で、運転席から降りる際に着地した地面がへこんでいて、右足首がひねった状態で体重がかかり負傷した。	32	50~99
3	7~8	荷物を納品のため、4t貨物トラックにて営業所へ搬送し荷降ろし作業終了後、トラックの横に10枚重ねて置かれていたパレット（プラスチック製、1枚縦1.1m×横1.1m厚さ15cm、重さ15kg程度）が不揃いであったため、まっすぐに直そうとトラックを降りてパレットを上から1枚ずつ持ち上げて直そうとしたところ、誤って足を滑らせ転倒し、パレット5枚に左手人差し指部分を挟まれ負傷した。	67	10~29
3	11~12	作業中、荷台で膝をついた時にとげが刺さり、とげを抜いて消毒した。当初は特に痛みもなかったが、しばらくして痛みと腫れが生じ、発熱した。	54	10~29
3	10~11	荷降ろし先の構内にて荷降ろし作業中に、トラックの荷台から降りようとした際、地面に段差があった事に気づかず、左足から降りたところ足を捻って転んだため受	35	10~

		傷した。		29
3	11~12	荷物の積み込みクレーン作業中、段差から下りた足もとに石ころがあり、その上に足が乗り、くじいて倒れた。	38	1~9
3	21~22	乗務を終了し、トラックにて当社駐車場に帰庫した。荷室内を整理した後、当該トラックのテールゲートリフター天板上から地上に飛び降りた際、踵を強打した。	55	30~49
4	21~22	支店構内の駐車場にて、荷物の積み換え作業中に、トラック後部荷台近くに側溝があり、夜間で足元が暗く見えづらかったため足が側溝に落ち、右足膝を側溝に強打した。	46	10~29
4	8~9	構内の高さ88cmのホーム上で配達荷物を仕分け作業中に、自分の車両をホームに接車した横が空いており、ホーム端に寄りすぎ、ホーム上からコンクリート地面に転落した。	42	30~49
4	5~6	支店構内にて、運転手が荷物をトラックから荷卸中に、荷台の上に積み付けられた荷物を取ろうとした際、ホームとトラックの接車面の隙間に左足がはまり負傷した。	53	100~299
4	18~19	仕事を終えて手洗いをしようと手洗場に行った時に、足元に敷いていたベニヤ板が雨で濡れており、滑って転んで左手をついた。	41	30~49
4	10~11	3m高さの水槽車の上でケージの中に入れたタイを水槽の中へ入れる作業中、ぬれた床面で足を滑らせてバランスを崩し落下し、右足じん帯を損傷した。	40	10~29
5	12~13	ウッドデッキより搬入していた際に段ボールを持ちウッドデッキに上がる際に左足首を捻る。	30	30~49
6	15~16	配送先の配達を終えて車に戻る際、納品ホーム（約75cm）から飛び降り、着地を失敗して足首を捻ったものである。	41	100~299

6	8～9	支店構内において、書類の仕分けを完了し、シャッター付近に停めている委託の車に荷物を届けようと小走りしたところ、躓いてしまい転倒した。その際、左肩と左腕を地面に打ったものである。	51	～ 99
6	11～ 12	取引先にて医療ケースの積み込みをしてもらってる際、荷台にいた被災者が、作業が終わった後に荷台の上から約1.3m下に飛び降り、足首を捻ってしまった。	49	30 ～ 49
6	13～ 14	積込先に集荷に向かう途中のコンビニ駐車場で、自分のトラック荷台の備品整理を行い、荷台より降りる時に、右足が備品の角に引っかかり、咄嗟に飛び降りた時に左足を損傷したものである。そのまま仕事をして、しばらくしても痛みが引かない為、病院で診察を受けたところ、骨折と診断されたものである。	65	30 ～ 49
6	9～ 10	当日、物流センターにて荷物の積み下ろしをしていた際、荷物置場（ホーム）に上がろうとした時に、足を踏み外して、頭部より転落し負傷した。	40	10 ～ 29
6	14～ 15	弊社敷地内に設置してあるコンテナ2Fより荷物を搬出中、足場の木製の床が抜け落ち、被災者の右足が落下して挟まってしまった。その拍子に骨盤付近から右足首にかけて負傷してしまった。	25	10 ～ 29
6	10～ 11	タンクローリー作業中に、作業場が濡れていて足が滑り、右方向に体勢を崩した際、横に置いてあった熱湯の入ったバケツに右手が入り、右手肘下を熱傷した。	35	100 ～ 299
7	12～13	荷物の荷卸し時、庫内の中で引っ張り出す時に足元が滑り転倒し左脇腹あたりを強打。転倒した際は痛みが然程無かったが次第に痛みが出た。	52	10 ～ 29
7	9～ 10	営業所構内にて、積込作業開始のため、トラック荷台の片付けをしていた。終了後、トラックの荷台から降りて着地したが、バランスを崩して転倒した。その際、地面に手をつき、右手首をひねり負傷した。	30	30 ～ 49
7	2～3	会社の倉庫でゴミを捨てる際、暗かったため躓いて転倒してしまい、首と腰を痛めた。	45	1～ 9

7	8～9	倉庫構内にて、荷下ろし終了後、あおりを上げキャッチを閉める作業をしていた。 降雨のため小走りで作業をしていたため、濡れた地面に足を滑らせて右肩から転倒した。	45	10 ～ 29
9	16～ 17	自社倉庫内にて、停車したトラックの荷台から、ワイヤーを両手で抱えて運ぶ際、左足を捻って転倒し、同足首を負傷した。	39	50 ～ 99
9	11～ 12	荷物をヤードからトラック荷台に移す為の板を下げる際に、ホームにいた作業者が下部で荷物位置を直していた作業者に気付かず板を降ろしてしまった。板がその際に、作業者の左肩から首にかけて落下し、ケガをした。	46	10 ～ 29
9	20～ 21	作業中に責任者から呼ばれ、ゲート（高さ20cm程度）から降りた際に、車道と歩道の境にある段差に足をとられ捻挫する。	21	30 ～ 49
9	8～9	工場において、荷おろし後、確認のため車両反対側に回る途中、ぬれた足場（コンクリート）と地面（アスファルト）の段差で足を滑らせ負傷した（ひねった）。	64	10 ～ 29
9	18～ 19	冷蔵センター構内作業中に、荷物を確認する為に荷物と荷物の間にある隙間に入っていく、その場所から出ようと後ずさりで下がった時に、足元の障害物に足が引っかかってしまい、後ろ向きで倒れてしまった。その際に右手で体を支える形で床に手をついてしまい負傷をしたものである。	54	50 ～ 99
9	19～ 20	入荷ホームで、集荷の荷物を荷下ろし後、入荷ホームから下へ降る時、ホームの当てゴムを踏みゴムの亀裂に右足がはさまり、右上半身から地面にそのまま落下した、右目裂傷、打撲となった。	49	300 ～ 499
9	7～8	レジャー船への燃料給油作業終了後、岸壁へ戻る際、船の縁で足を滑らせ体勢を崩し、船の縁に胸を強打し、肋骨6本を骨折した。	47	10 ～ 29
10	6～7	納品先のプラットホームで、納品をするためにトラックのゲートを出し、ゲートに上がろうとした際、足が滑って捻ってしまった。	56	100 ～

				299
10	17～ 18	午後5時ごろ敷地内の隣家で何かに躓いて転倒したがその時は特に痛みがなかった。帰宅する為着替えを始めてズボンのベルトを締めたところ左足に痛みが走った。	62	30 ～ 49
10	9～ 10	取引先の敷地内にて、荷物の積降ろし作業中、地面にレバブロックをおいていた事を忘れ、トラックの荷台より飛び降り、レバブロックの上に着地した。その際、両足がハの字となり着地したため、負傷した。痛みはあったが、そのうち治まるだろうと、仕事を続けていたが、痛みが引かなかった。	30	10 ～ 29
10	13～ 14	資材置場内において、資材の整理整頓をするため資材を場所移動する際、トラックへ資材を積み終えた。高所作業台からトラックのキャビンへ飛び移ろうとした時、バランスを崩し転落した。その時に右足踵を負傷した。	24	1～ 9
10	14～ 15	配達先からトラックに戻る際、マンションの玄関先の階段を下りた歩道（雨で濡れていた）で足が滑った。両手で荷物（箱サイズ29.7cm×21cm×3cm重さ2～3kg）を持っていたため、横倒し、左肘を負傷した。	32	50 ～ 99
11	23～ 24	こんにゃくの収穫作業にて、種イモの入った約20kgのコンテナをトラックの荷台に積み込む作業を行った際に痛みが発生した。2t車に96箱を基本2名で、1日当たり5台、時間にして75分位の作業量だった。当初、手首に軽い痛みを感じたが、筋肉痛だと思い、引き続き5日間出勤し同様の作業を行った。しかし翌日に休みを取り、痛みが引けるのではと思ったが、悪化したため通院することにした。	62	10 ～ 29
11	9～ 10	作業場で包丁を使用して、30cm程の鮮魚をおろしている際、声を掛けられ目を離し手元をよく見ていなかったため魚の小骨が右手第2指に刺さり、腫れた。	40	10 ～ 29
11	3～4	ホームにてゴミを捨てた後、振り向いて小走りした際、足元のステップに躓き転倒した。左膝を地面に打ちつけ負傷したものである。	53	100 ～ 299
11	16～ 17	ホッパーを閉めようと小走りしていたら、地中に埋めてある、車止めの目印の為の表示燈に躓き転んだ。病院でX線、MRI検査の結果、筋肉の断裂及び内出血と言わ	51	10 ～

		れ、痛みがある。		29
11	14～15	トラックの処分品をBOXに移している際、BOXの段差に足を引っ掛けた。安全ヘルメットを着用していたが前倒した為、あごを強打し裂傷した。	23	30～49
12	10～11	構内にて、トラックの運転台を確認し、後ろ向きでステップに足を掛けており、左足が地面に着いた時、腰の部分に痛みが走った。ギックリ腰を起こしたと思い静かに事務所まで始動し、1時間位休んだが痛みが治まらない為、受診したところ負傷していた。	56	30～49
12	1～2	宅配便仕分け作業中、ベルトコンベアに載っている荷物の向きを直す作業中、荷物を取りそこない床に転んでしまった時に、左足大腿骨付近を痛めた。	72	500～999
12	10～11	店舗へ納品の際、荷下ろし時にパレットの移し替え作業をしていたところ、誤ってフォークリフトの端に足を引っ掛け転倒したものである。	46	30～49
12	17～18	市場内従業員点呼場（控室）で躓いて倒れた。	55	10～29
12	14～15	2段積みのフレコンパックを荷卸し中、上段のフレコンをリフトで荷卸し後、上段部と下段部の間に敷いてあったコンパネ（ベニヤ板）をどけようとしたところ、強風が吹き、風にあおられてトラック荷台より地面へ飛んだところ、右足踵より着地し、骨折した。	68	30～49
12	18～19	物流センター内のトラックバース付近で、おせち出荷作業中、おせちの入ったカゴ台車をトラックに積み込んでいた。落下防止のためカゴ台車全体にラップが巻かれていたが、一番上に積まれていた箱が台車から落下しそうになったので押さえようとした。そのときトラックとバース間に置いていたコンパネに躓き、左足首を捻り、膝から強く床に転倒し、左膝蓋骨脱臼骨折、内側膝蓋大腿靱帯損傷（付着部剥離）を負った。	44	50～99

12	18~19	お客様引き取りの荷物を取りに行き、荷物を確認後、ホームから事務所へ向かう際、足元の台車に躓き転倒した。その際に手をついてしまい、右手手首を骨折した。原因としては、早く荷物をお客様へ渡そうと急いでいたこと、また、荷物を持ち足元の視界が悪くなっていたにもかかわらず安全確認を怠ったことが考えられる。	10 63 ~ 29
----	-------	---	---------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html